
物書き志願の迷走日記～いい作品って何なわけ？

青朱白玄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

物書き志願の迷走日記〜いい作品って何なわけ？

【Nコード】

N0938X

【作者名】

青朱白玄

【あらすじ】

青朱白玄が、なろうで少しでもたくさんの人に読んでもらうにはどうしたらいいのか、あれこれ考える日記みたいなものです。テーマがあれば書きし、なければ書きようがない。ただそれだけの文章です。解答求む！

いい作品って何なわけ？（前書き）

ご注意：これはあくまで青朱白玄が勝手にあーだこーだと考えたことをつづるもので、いろいろ考えはするけど、決定的な結論があつて書いているというわけではないことをご了承ください。

また、本文中で「これってあの作品のこと？」と思われたとしても、違います。

断言できるのは、不特定多数に当てはまることを言うことが多いからです。

もし作品名を出して差し支えないようなことであれば、作品名を挙げます。

いい作品って何なわけ？

いい作品って何なわけ？

ご注意：これはあくまで青朱白玄が勝手にあーだこーだと考えたことをつづるもので、タイトルについて考えはするけど、決定的な結論があつて書いているというわけではないことをご了承ください。また、本文中で「これってあの作品のこと？」と思われたとしても、違います。

断言できるのは、不特定多数に当てはまることを言うことが多いからです。

もし作品名を出して差し支えないようなことであれば、作品名を挙げます。

・小説作法って大事なの？

出版書籍、小説の書き方入門サイト、どちらでもまず最初に叩き込まれるであろうものが、小説作法です。

具体的には、セリフ終わりにまる（。）はいらない、！や？の後に文字を続けるときには全角スペースをひとつ空ける、てんでんはんは「……」のように、三点リーダをふたつセットで使う、などです。

（ は一例です。もっと細かくありますし、青朱が知らないものもあるかもしれません）

こういうルール、本当に守る必要があるんでしょうか？

確かに一般公募に出したり出版社に持ち込みしたりするにはこうしたルールは必要と思われます。

ですが、出版されている商業作品の中にも、ルールを守っていない作品は現実にあります。

青朱としては、ルールがあり、それを知っているからには守ろうかな、と思っています。

でも、なろうでこれが必要なんですかね？
守っている作品のほうが少なそうなんですが……。

・才能があればそれでいいの？

才能はある方がいい。そりゃそうだ。

才能がある人のほうがない人よりいい作品を書くことが多いだろうことは簡単に想像できます。

でも、才能だけで突っ走って評価いっぱいもらっていても、誤字や脱字が多数放置されていたりすると、「？」と思ってしまっわけですよ。

作品を良くしたいと思ってないんじゃないか？
とね。

特定の作品を想像してはいませんよ。

才能は最初からもらえるアドバンテージで、そこに積み重ねるものがないと努力型の方がいい作品を作るんじゃないのかな？
というのが、青朱の考えです。
いかがでしょうか？

・それは本当の人気作品？

上位にランキングされているから読み始めて、面白いと思って評

価まで入れる。

悪いことでも何でもありません。

ただ、ランキングってそこまであてにしているものなんじゃないか？

いや、いいとか悪いとかじゃなくて、楽だからランキングを見るんじゃないか。

まったくもってその通り。

ですが、その評価がその作品をさらに他作品から浮上させる一方で、もつと面白いかもしれない作品が逆に埋もれていくわけです。

人気ってのは実にあやふやなもので、流行とか、情報操作とか、宣伝効果とかでガシガシ揺れてしまします。

上位に安定した作品はそんなことではびくともしないでしょうけど、そうでない作品は大変です。

私の作品も、第一集が完結した途端、完結した連載作品、に表示されたこともあると思いますが、ぐんとアクセスが伸びました。お祭り状態です。

その一時的人気の後は、へによへによへによ（笑）
連載時よりアクセス激減。

ま、それが何ってわけでもないんですけどね。

・評価が評価になってない？

上で書いたことにぼんやり含まれていますが、高評価・高ランキングはさらなる読者を呼び、どんどん他と差がついて……。

私の作品だけじゃなくて、影響受けてるの、評価もアクセスも少ない作品すべてだと思つのですよ。

・商業作品は売ればいい。じゃあ「なろう」では？

難しいですよ。

読まれてなんぼ、評価されてなんぼなわけですが、読んでもらうには飛び抜けた才能とかすでに持っている知名度とか並外れた運とかがない人は、地道な宣伝活動からあれこれと、やらないといけないことがたくさんありそうです。

自助努力は大いにあり。でも反則スレスレの手段もあるっちゃあるわけで……。

絶対、したくありませんけど。

青朱はそういう点、頑固ですから。

（どうでもいいことは本当にどうでもよくなるんですけどね）

・おまけ：テンプレと王道

元はまるで違う意味だったと思われるこのふたつ、今では区別なしで使われているような気がします。

受けを取れる（取りやすい）テンプレ＝王道。

これですら微妙に違うような気がするのですが、テンプレと王道ってどう違うの？

という感覚なんじゃないかなーと思ったり。

以下、ネット検索すらしなない勝手な解釈です。

王道……確立された型で、それを外れないで創れば受けやすい

テンプレ……流行の型で、それを外れないで創れば受けやすい

流行は時代で流れていきますが、王道は簡単に流れません。

何せ時間をかけて定着したものですから。

でも、ラノベ作品でこれらを区別する必要があるのか？
意識する必要があるのか？

答えは出ません。

あるのはただ漠然とした、テンプレへの反抗意識のみ……。

……つづくんでしょうかね、これ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0938x/>

物書き志願の迷走日記～いい作品って何なわけ？

2011年10月9日15時54分発行